

信仰登山の歴史を伝える山頂の眺めは爽快
八方ヶ原から高原山(剣ヶ峰・釈迦ヶ岳)

実施日 2016年5月8日(日)
 天候 晴れ
 リーダー 瀧澤 きよの
 参加者 渋谷京子、遠井謙策、中村友子、伊藤久雄、佐藤政司、峯川弘子、瀧澤きよの 計7名
 費用 JR10,120円(東京起算・新幹線利用時) 乗車券2,740円
 タイム 矢板駅(8:58)大間々田台(9:38~9:40)八海山神社(10:25~35)釈迦ヶ岳山頂(12:10~55)剣ヶ峰(14:05~07)八海山神社(14:15~27)大間々田台(15:15~25)城の湯温泉センター(16:00)

5月4日の山行が生憎の大雨で延期に連休最後の日曜日。母(わ“はは)の日で雲一つない山日和です。

矢板駅8:50下車。先に待っていたSさんと合流し、予約のタクシー2台に乗り大間々田台へ。道路からは藤、米桜、レンゲツツジ、山ツツジ、青葉が目優しい。



大間々田台は広い駐車場でトイレがあります。大勢の登山客も。しかし、風が冷たい。右の見晴らし尾根へ向かいます。

広い道の両脇には、まだ雪どけで、新芽、米桜が綺麗です。熊笹の登山道を登ると賽の河原に似たケルンのある八海山神社に、青空の釈迦ヶ岳が大きく望める。



林間コースとの分岐を見送り地図上の1590m矢板最高所の看板あり。アップダウンを繰り返しながら、稜線を進む剣ヶ峰の標識を見送った稜線にアカヤシオが両脇にちらほら咲いています。蕾が多く一週間で見時かな。鳥も春で

良く鳴いています。相変わらずのアップダウンの繰り返しです。Tさんの懐かしのアカペラが流れます。リズムに合わせて釈迦ヶ岳の急登を登ります。ロープもあり、木の根っこもあり、シャリバテにお腹がグウグウ。

良く鳴いています。相変わらずのアップダウンの繰り返しです。

Tさんの懐かしのアカペラが流れます。リズムに合わせて釈迦ヶ岳の急登を登ります。ロープもあり、木の根っこもあり、シャリバテにお腹がグウグウ。



鶏頂山との分岐から一投足冷たい風も明るい山頂は暖かい。一等三角点の山頂には祠があり、大きなお釈迦様が

が安置されてます。景色最高、雪の群馬の山々。男体山、日光白根山、雪が少ない。ここで景色を見ながらお昼ご飯待ってました。美味しい。



3時半タクシー予約してあるので、下山です。剣ヶ峰を登って?ないので、1分弱これが剣ヶ峰?リュックサックのネット販売かと思う位積み上げて記念写真。

難なく八海山神社に、左の林間尾根コースを下山します。なんとカタクリの花が咲いています。シラカバ、ダケカンバの唐松の下り。まもなく大間々田台。駐車場です。タクシーが待っています。ユウジゴージに似た栃木弁の運転手さん。[いや-大した者だっぺ-剣ヶ峰だけかと思ったら、釈迦ヶ岳迄登ったぺーか。着替え持ってないなら、おれのパンツ貸してやっぺ]もう車内はお笑いでした。城の湯温泉センター迄送ってもらい、温泉に入り反省会。泡で乾杯。

矢板駅迄送ってもらい、素晴らしい仲間と、天気と温泉で高原山(釈迦ヶ岳)を歩く事が出来ました。又、こんな山行やっぺ。ありがとうございました。



着替え持ってないなら、おれのパンツ貸してやっぺ]もう車内はお笑いでした。城の湯温泉センター迄送ってもらい、温泉に入り反省会。泡で乾杯。

矢板駅迄送ってもらい、素晴らしい仲間と、天気と温泉で高原山(釈迦ヶ岳)を歩く事が出来ました。又、こんな山行やっぺ。ありがとうございました。

(記・瀧澤きよの)
 (写真提供・伊藤久雄)